

自然をいかし、  
自然より美しく。

二〇〇四年四月八日、静岡県西部の浜名湖畔に世界の花が咲き誇るガーデンアイランドが誕生しました。東京ドーム十二個分の広大なこの会場で、平成八年に国際園芸協会からの承認を受けた国内三度目の国際園芸博覧会「浜名湖花博」を開催しています。今年、国内陸の国際イベントであり、花の水も新たな暮らしの創造」をテーマに、十月十二日までの半年間に、樹木八万本、花六〇〇〇品種、延べ五〇〇万株にも及び、過去の博覧会を超えた世界最大級の花の祭典となっております。

当会場へ入り、平成八年に南條道雄氏(都市計画家)、故郷下慶子氏・賀来宏和氏(共にイベントプロデューサー)の三人をプロデューサーに迎え、建築、造園、展示をして公園としての後利用について受託事業者を含めた「プロデューサー会議」で、情報共有、調整、意見交換を続けてきました。これは、「この公園づくりを進める新しい取組」でありました。

その結果、会場は、木を多く取り入れた建物、ベンチ、トイレなどがあり、全身で「木のぬくもり」を感じていただくことができ、園路の勾配を四パーセント以下にするほか、休憩所を約二万平方メートル、サービスとともに、あらゆる面でユニバーサルデザインに配慮し「人によさしい、自然にこまれた会場」が実現しました。

博覧会では、「二十一の園と地域」の庭が並ぶ「国際庭園」、印象派の巨匠モネが愛した睡蓮の庭などを忠実に再現した「花の美術館」、約三万平方メートルもの敷地に希少種をはじめ世界中から集めた花や木を展示する日本最大級の植物「レクシオン」「百華園」、恐竜時代から生息してきた奇跡の植物「シエラシックスツリー」の日本初公開、「星の王子さま」に登場するパオパフの木、昭和天皇が収集された植物標本を展示する「昭和天皇自然館」など、これまでの園芸博覧会にはない見どころが盛りだくさんで、大好評を博しており、最終的には五〇〇万人を超える来訪者を期待しております。

博覧会閉幕後は、浜名湖の恵まれた水辺環境や景観を生かした多様なリクリエーションの場となり、多くの県民が園芸や庭園等の文化を楽しむる公園の整備などを検討しております。



石川 嘉延  
いしかわ よしのぶ

静岡県知事

東京大学法学部卒業、自治体入職、静岡県知事、国土庁長官官邸副館長、自治体行政改革推進部長等を歴任  
平成五年から静岡県知事、一任期目

# 花博

浜名湖花博  
しずおか国際園芸博覧会

